



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	205,436	3.9	2,616	20.2	2,979	24.1	1,739	30.5
2019年3月期第3四半期	197,783	0.3	3,280	15.1	3,923	3.5	2,501	10.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,126百万円 (21.0%) 2019年3月期第3四半期 2,692百万円 (20.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	160.76	
2019年3月期第3四半期	231.46	221.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	131,659	33,405	25.3
2019年3月期	114,673	31,996	27.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 33,320百万円 2019年3月期 31,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				70.00	70.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	9.3	4,000	4.4	4,500	1.5	3,000	3.0	277.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) KYOKUYO GLOBAL
SEAFOODS Co.,Ltd.、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	10,928,283 株	2019年3月期	10,928,283 株
2020年3月期3Q	109,203 株	2019年3月期	109,112 株
2020年3月期3Q	10,819,094 株	2019年3月期3Q	10,807,451 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復が続いております。

水産・食品業界におきましては、人手不足による労働コスト・物流コストの上昇に加え、世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇など、厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』（2018年度～2020年度）の2年目として、『魚を中心とした総合食品会社として、高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と時間価値の提供により企業価値の向上を目指す』という基本方針のもと、『ESG重視の事業活動』を通じて『拡大』『強化』『均衡』の各戦略を進め、高収益構造へ大きく転換していくことを目指し、目標達成に向け取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,054億36百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は26億16百万円（前年同期比20.2%減）、経常利益は29億79百万円（前年同期比24.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億39百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①水産商事セグメント

最大の需要期である年末商戦において積極的な販売を行い、エビ・北洋魚などの取扱いが伸長しました。また海外でも日本産サバ・イワシ・ホタテなどの輸出や、米国子会社による北米販売が堅調に推移しました。そのため、第3四半期は前期を上回る利益となりましたが、鮭鱒で損失計上を余儀なくされた上半期を補うまでには至りませんでした。この結果、売上は前年同期を上回りましたが、利益は前年同期を下回りました。

水産商事セグメントの売上高は1,016億61百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は14億82百万円（前年同期比30.7%減）となりました。

②冷凍食品セグメント

水産冷凍食品事業では寿司種を中心とした生食用商品や、切身・煮魚・焼魚などの加熱用商品の拡販に努めました。調理冷凍食品事業ではカニ風味かまぼこやエビフライなどの水産フライが伸長し、家庭用冷凍食品事業ではお弁当商品に加え、米飯類や煮魚などアイテムの多様化に努めました。この結果、売上・利益とも前期を上回りました。

冷凍食品セグメントの売上高は659億39百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は10億4百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

③常温食品セグメント

缶詰は、イワシ缶・カツオ缶・サンマ缶の販売が伸長し、また珍味製品も堅調に推移しました。また、利益面では原料価格高騰が続くなか、価格改定や規格変更などにより利益率の改善を進めました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

常温食品セグメントの売上高は144億92百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は5億33百万円（前年同期比46.8%増）となりました。

④物流サービスセグメント

前期10月に行った連結子会社における会社分割及び株式譲渡により、売上は前年同期を下回りましたが、在庫貨物の確保を図り、配送事業強化に努めた結果、利益は前年同期を上回りました。

物流サービスセグメントの売上高は7億27百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は2億59百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

⑤鯉・鮪セグメント

加工及び販売事業では、カツオタタキ・マグロタタキなど加工品の販売が伸長し、養殖事業では生育に応じた出荷を進めたことで、販売が伸長しました。一方、海外まき網事業では、水揚げ数量、魚価が前年同期を下回り、経費削減に努めたものの、収支が悪化しました。この結果、売上は前年同期を上回りましたが、利益は前年同期を下回りました。

鯉・鮪セグメントの売上高は223億7百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1億28百万円（前年同期比78.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ169億85百万円増加し、1,316億59百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ158億54百万円増加し、1,052億79百万円となりました。固定資産は、有形固定資産や投資その他の資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ11億31百万円増加し、263億80百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ155億77百万円増加し、982億54百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14億8百万円増加し、334億5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は25.3%(前連結会計年度末比2.4ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2019年11月5日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,818	5,355
受取手形及び売掛金	35,540	51,958
たな卸資産	44,947	45,184
その他	4,126	2,788
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	89,425	105,279
固定資産		
有形固定資産	14,981	15,545
無形固定資産		
のれん	—	10
その他	549	524
無形固定資産合計	549	534
投資その他の資産		
投資有価証券	6,248	7,028
その他	5,262	5,064
貸倒引当金	△1,793	△1,793
投資その他の資産合計	9,717	10,300
固定資産合計	25,248	26,380
資産合計	114,673	131,659

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,208	14,920
短期借入金	24,469	39,494
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	472	770
引当金	941	419
その他	9,637	9,201
流動負債合計	54,730	74,806
固定負債		
長期借入金	23,193	18,591
引当金	111	347
退職給付に係る負債	4,369	4,241
資産除去債務	51	51
その他	221	216
固定負債合計	27,946	23,448
負債合計	82,677	98,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,308	1,308
利益剰余金	24,618	25,597
自己株式	△244	△244
株主資本合計	31,346	32,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	1,604
繰延ヘッジ損益	23	44
為替換算調整勘定	172	157
退職給付に係る調整累計額	△903	△810
その他の包括利益累計額合計	475	995
非支配株主持分	174	84
純資産合計	31,996	33,405
負債純資産合計	114,673	131,659

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	197,783	205,436
売上原価	179,411	186,586
売上総利益	18,372	18,850
販売費及び一般管理費	15,091	16,233
営業利益	3,280	2,616
営業外収益		
受取利息	24	4
受取配当金	104	122
持分法による投資利益	161	114
補助金収入	322	242
為替差益	218	109
その他	188	166
営業外収益合計	1,020	759
営業外費用		
支払利息	326	339
貸倒引当金繰入額	△0	—
その他	51	56
営業外費用合計	377	396
経常利益	3,923	2,979
特別利益		
固定資産処分益	2	1
投資有価証券売却益	0	12
国庫補助金等収入	5	0
特別利益合計	8	14
特別損失		
固定資産処分損	3	6
減損損失	—	15
災害による損失	66	71
訴訟損失引当金繰入額	—	168
固定資産圧縮損	5	0
投資有価証券評価損	14	0
和解金	153	—
その他	21	—
特別損失合計	265	261
税金等調整前四半期純利益	3,666	2,733
法人税、住民税及び事業税	806	1,131
法人税等調整額	322	2
法人税等合計	1,128	1,134
四半期純利益	2,537	1,598
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,501	1,739
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	36	△140

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	421
繰延ヘッジ損益	117	21
為替換算調整勘定	17	△7
退職給付に係る調整額	112	92
その他の包括利益合計	155	528
四半期包括利益	2,692	2,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,651	2,259
非支配株主に係る四半期包括利益	41	△132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	96,875	63,405	14,395	763	22,049	293	197,783	—	197,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,545	4,030	186	1,335	2,711	927	36,737	△36,737	—
計	124,420	67,436	14,581	2,099	24,761	1,221	234,520	△36,737	197,783
セグメント利益又は損失(△)	2,139	833	363	210	603	△104	4,046	△766	3,280

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額766百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用864百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	101,661	65,939	14,492	727	22,307	308	205,436	—	205,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,165	3,890	228	1,387	3,077	961	36,711	△36,711	—
計	128,827	69,829	14,721	2,114	25,384	1,269	242,147	△36,711	205,436
セグメント利益又は損失(△)	1,482	1,004	533	259	128	△16	3,392	△775	2,616

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額775百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用865百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。